

子どもが好奇心を持つ環境を

平田オリザさんのコミュニケーション教育から学ぶこと

演劇の表現方法を通して、コミュニケーション能力の育成に取り組む劇作家・演出家の平田オリザさん。令和2年11月に羽山台小学校でワークショップ型授業を行ったオリザさんに、コミュニケーション教育について伺いました。



平田オリザさん

1962 年東京生まれ。日本の現代演劇界で、今もっとも注目されている劇作家・演出家。数々の受賞歴を持ちながら、拠点を兵庫県に移し、新たなメッセージを放つなど、さまざまな挑戦を続けています。

「教育の中に演劇を取り入れた理由」

人は「自分が誰かのために役に立っている」と思うことでモチベーションが上がるもので、とくに子どもたちは顕著で、家庭でも学校でも自ら行動するようになる傾向があります。演劇の中には、誰でも必ず役割があります。自分の居場所があることでモチベーションが上がり、今までにはない新たな側面を発揮することがよくあります。このことが家庭や学校でもいい影響を与えることにつながっていると思います。

「演劇なら楽しくやれそうですね」

幼少の頃に「○○ごっこ」などが好きなように、もともと子どもたちは演技することが好きなんです。また、集団でやり遂げることの達成感もあります。しかし、本当に大切なのは劇の前のワークショップなんです。この中で、シナリオや役割などを決めていくのですが、劇が成功するかしないかは、ここにかかってきます。

チームワークが大切であり、仲良くやらないとうまくいかない仕組みになっています。結果的に失敗することもあります。そこから学ぶこともまた大切です。また、ここで培われた、やり遂げる力や集中力、忍耐力、いわゆる非認知スキルを身に付けることは、最終的には学力向上にもつながっていきます。

「子どもたちを見て感じることは」

羽山台小学校の子どもたちはとても元気でしたが、コミュニケーションが苦手な子も一定数います。気心の知れた友達とはよく話せるが、価値観の違う人や大人と話すことが苦手な子が多いですね。いわゆるナナメの関係と言われるもので、さまざま



いろいろなアイデアが
でました♪



ワークショップで、自分たちで劇のシナリオや配役を考えました



グループごとに劇を披露。オリザさんは、みんなのいいところを見つけます



笑いをとると
やみつきに!?

ナナメの関係が大切

まな世代、価値観をもつ人と子どもの頃から交流し、社会に出てから対応できるコミュニケーションスキルを身に付けることも大切だと思います。そのためには「好奇心」を持つことが重要です。好奇心を持ち、異なる価値観に対して「こんな考えもあるんだ！おもしろいなあ！」と考えることができれば、交流がスムーズにできるようになります。

新しいものに価値を見出せたり、認めることが出来たりすると、コミュニケーションスキルは自然と伸びていきます。

「家庭や地域でできることとは

子どもが好奇心を持つ環境を作ってほしいですね。例えば、家の中に世界地図を貼っておいて、テレビで外国のニュースが流れた時などに、地図を見ながら「インドって日本から遠いね。どんな国なんだろうね？」などと会話をすると、世界に目を向ける、外国語に興味を持つようになるかもしれません。

環境はとても大切です。家庭環境が教育を左右し、この違いが格差を生むとも言われています。教育だけではありません。

基本的な生活スタイルが出来ない子も増えています。

そういう意味では、子ども食堂など面白い学びの場になっています。当初は貧困対策で始まった事業ですが、現在は、親子や地域の皆さんと一緒に調理をしたり、配膳、後片付けをしたりするさまざまな体験の場になっています。

「大牟田市に求めることがあれば

世界遺産や動物園など、ポテンシャルはあると思います。例えばそこに若い人のアイデアを取り入れ、成功事例が出来ると「自分たちの力でまちを変えることが出来る！」と自信を持ち、行動する若者が続くかもしれません。

市外からの学生も多いみたいですので、例えば電車の待ち時間を過ごせる場所があったりすると、そこに何かが生まれることも考えられます。行政が、ゴミや電源などが整備された居場所を準備し、関係性を作っておけば、何かのときに若い力が役に立つこともあると思います。

大牟田市の伝統を未来へ継承していく何かを、若い力が作り出すことができればいいですね。

子どもたちの こえ



羽山台小学校
5年1組
西坂 慶太さん

ワークショップのときに、クラス全体がいつもより団結しているように思いました。この経験を忘れずに、これからもみんなと仲良くやっていきたいです。演技は難しかったけど、楽しかったです。



羽山台小学校
5年2組
平田 栞菜さん

グループ内の息があい、スムーズに進んで楽しかったです。劇の発表の時は緊張したけど、みんなでやり遂げました。オリザ先生には上手にできたところを褒めていただき、とてもうれしかったです。